

SDGs JAPAN SCHOLARSHIP 岩佐賞

第3回「SDGs岩佐賞」受賞者発表！

つなげよう、地球の未来。



公益財団法人
岩佐教育文化財団
代表理事 岩佐 実次

受賞された方々、おめでとうございます。みなさんが地道に、また、大変な努力を積み重ねながら活動を続けられてきたことに、深く感銘を受けています。この受賞と賞金が、活動をさらに前に進めていくのに役立つのであれば、大変うれしく思います。次回も、志ある多くの方からエントリーをいただけることを楽しみにしています。——このすばらしい世の中、この理不尽極まらない世の中、共に生き抜きましょう。

岩佐実次

目の前の課題に真摯に向き合い、SDGs達成に向けて活動している人々を応援したい——。そんな思いから、公益財団法人岩佐教育文化財団が2022年に創設したのが「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」(SDGs岩佐賞)です。

第3回の応募総数は616件。厳正な審査を経て、全8部門の受賞者が決定しました。すべての受賞者の活動詳細と喜びのコメントは、朝日新聞SDGs ACTION!に掲載しています。

来月からは、第4回「SDGs岩佐賞」のエントリーが受け付け開始。岩佐教育文化財団はこれからも、SDGs達成のために地道な努力を重ねるみなさんを応援し続けます。

医療の部

日本国内および東南アジアでの小児がん支援

認定NPO法人ジャパンハート
(代表 吉岡春葉さん)



賞金 1,000万円

国際支援が後回しになりがちな、途上国における「小児がん」。私たちは2016年、カンボジアに「ジャパンハート子ども医療センター」を開院。2022年度のカンボジアでの小児がん治療件数は113件に上り、現地の医師・看護士の育成にも注力しています。今後は、アジアの小児医療の拠点づくりにも取り組めます。日本では、小児がんの子どもと家族の外出・旅行に、医療者が同行する活動「スマイルプロジェクト」も実施しています。

ナイロビのスラム街でUHCを目指す

NPO法人日本リザルツ(ケニア駐在 長坂優子さん)



賞金 500万円

ケニア・ナイロビのスラム街で、コミュニティ・ヘルス・ボランティア(CHV)向けのトレーニング、医療施設の整備や清掃、小学校での定期的な身体測定などに取り組んでいます。

JAGES松戸プロジェクト 青森プロジェクト

塩谷竜之介さん
(医師、日本老年学評価研究機構・千葉大学予防医学センター研究員)



賞金 300万円

高齢者の「社会参加」が介護予防につながることを科学的知見のもと、千葉・松戸と青森で、高齢者の社会参加を促すまちづくりとその効果評価を行っています。

教育の部

若手建築職人の育成と高卒資格取得のサポート

一般社団法人 匠の学会
(代表 白川勝さん)



賞金 500万円

建築業の若手技術者を育成する学校「匠の学会」を香川県琴平町に開校。座学と実技研修を組み合わせた3年間のカリキュラムで、これまでの卒業生は19人。そのうち11人がいまだ建築業界で職人の道を歩んでいます。

外国人の子どものための多言語版算数・数学動画コンテンツの製作と公開による教育支援プロジェクト

京都教育大学 外国人の子どもの教育を考える会
(代表 黒田泰史さん)



賞金 300万円

ポルトガル語・中国語・英語・ベトナム語・韓国語・日本語による算数・数学の学習動画を約2700本製作し、無料で公開。昨年はクライナ読版も約600本作りました。

読み書き計算ができない大人たちに識字教育の機会を

認定NPO法人 JHP・学校をつくる会
(代表 小山内美江子さん)



賞金 200万円

カンボジアで、内戦や貧困等により教育を受けられなかった成人を対象に、読み書き・計算等を教えるクラスを開講。いまは5期生100人が学んでいます。

重度障害児を対象としたアダプテッドスポーツ教室

HBG重度・重複障害児スポ・レク活動教室「はなまるキッズ」
(代表 加地信幸さん)



賞金 200万円

重い身体・知的障害がある子ども向けのスポーツ教室を毎月1回、広島で約17年間にわたり開催しています。約250人ものボランティアが教室を支えています。

父子手帳・父親教室を中心とした、男性育児支援の実装

一般社団法人 Daddy Support協会
(代表 平野翔太さん)

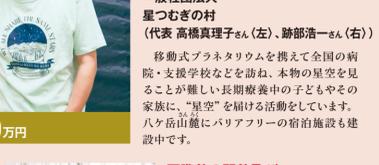


賞金 200万円

産婦人科医として、男性の育児を支える体制が整っていないことに問題意識を持っており、父子手帳の作成や講演活動などに取り組んでいます。

すべての人に星空を——「共に生きる社会」を目指して

一般社団法人 星つむぎの村
(代表 高橋真理子さん(左)、藤部浩一さん(右))

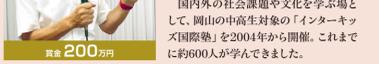


賞金 500万円

移動式プラネタリウムを携えて全国の病院・支援学校などを訪ね、本物の星空を見ることが難しい長期療養中の子どもやその家族に、「星空」を届ける活動を行っています。八ヶ岳山麓にプラネタリウムの宿泊施設も建設中です。

国際塾の開塾及びESD Caféの開催

NPO法人 ぐくさい子どもフォーラム岡山
(代表 秋政孝さん)

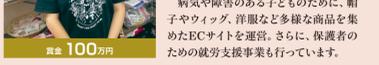


賞金 200万円

国内外の社会課題や文化を学ぶ場として、岡山の中学生対象の「インターキッズ国際塾」を2004年から開催。これまでに約600人が学んでいます。

病児や障害児、家族のための「チャームングケア」

一般社団法人 チャームングケア
(代表 石崎瑞穂さん)



賞金 100万円

病児や障害のある子どものために、帽子やウィッグ、洋服など多様な商品を集めたECサイトを運営。さらに、保護者のための就労支援事業も行っています。

福祉の部

戦争で被害を受けたウクライナ市民に向けた3D-デジタル義足製作支援

インスタリウム株式会社
(代表 徳島泰さん)



賞金 3,000万円

AIによる義足の設計アシスト機能を備えた3D-CADと義足専用3Dプリンターを活用し、一般的な義足の10分の1ほどの価格で義足を販売しています。製作期間は、従来の約1ヶ月間から最短2時間以内へと大幅に短縮。2018年に創業後、フィリピンとインドで事業を展開しており、2000人以上の義足の提供実績があります。現在、戦争で被害を受けたウクライナ市民に年間200本の義足を届けることを目指し、活動中です。

望まない妊娠に悩む若者に対する相談や一時保護、生活支援の活動

認定NPO法人10代・20代の妊娠 SOS 新宿一ツツ&ファミリー(代表 佐藤初美さん)

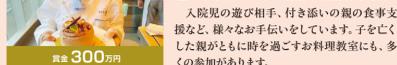


賞金 500万円

望まない妊娠に悩む若者のために、電話・メールによる相談支援に取り組んでいます。病院や行政窓口、警察などには、スタッフが同行します。

子どもの「生きる力」を育み 孤立を防ぐ20年構想

NPO法人HUG for ALL
(代表 村上綾野さん)

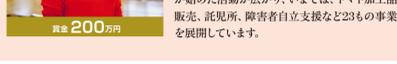


賞金 300万円

児童養護施設の子どもたちとボランティアが毎月、対話や体験を通してともに学ぶ時間を作っています。中高生には、施設退所後も見舞い、未来に向けた対話や学びも行っています。

子どもを亡くした親へのグリーフケアアクキング教室

NPO法人病気の子ども支援ネットワークのボランティア(代表 坂上和子さん)

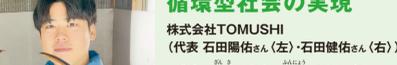


賞金 300万円

入院の道が辛い、付き添いの食事支援など、様々なお手伝いをしています。子どもを亡くした親がともに時を過ごすお料理教室にも、多くの参加があります。

「できる人が、できる時間に、できることを」社会を支える言葉

NPO法人日高町の会
(代表 安岡千春さん)



賞金 200万円

高知県日高町の「おせっかいなお母ちゃん」が始めた活動が広がり、いまでは、トマト加工品販売、託児所、障害者自立支援など23の事業を展開しています。

環境の部

200年後の森づくりで災害防止と地域活性化

NPO法人 自伐型林業推進協会
(代表 中嶋健造さん)



賞金 500万円

日本の山林でいま、対象区画の木をすべて伐採する「皆伐」が行われ、土砂災害を誘発する一因になっています。私たちは、小規模な間伐を繰り返し、時間をかけて豊かな森を育てる「自伐型林業」の普及と人材育成に取り組んでいます。

竹がつかぐ「里山」と「里海」の循環と再生

山海環(代表 谷川裕之さん)



賞金 200万円

里山の恵みである「竹」を活用し、瀬戸内の豊かな里海を守りたいという思いで、荒廃した竹林の整備、鹿竹のバイオ炭へのリサイクルなどに取り組んでいます。

大学のない山あいのまちで大学生関歩活躍プロジェクト

一般社団法人NEOのむら(代表 清家卓さん)



賞金 200万円

西日本豪雨災害を機に、地元住民と愛媛大学、大阪大学がまちづくり団体を結成。録酒の開発、まちあるきアプリの制作など、産官学で多様な活動を続けています。

経済の部

非営利×営利の循環経営で、誰もが夢を描ける社会へ

株式会社coxco(代表 西側愛弓さん)



賞金 200万円

残布や再生素材、規格外の資源などを活用したアパレルブランド「coxco」を創設。今年2月には、フィリピン・マニラに無償の服飾職業訓練校も開校しました。

アフリカで水に苦しむ人を10年間でゼロに!

株式会社Sunda Technology Global(代表 坪井彰さん)



賞金 200万円

プライベート・従量課金型の自動井戸水料金回収システム「SUNDA」を考案。ウガンダに150機を設置し、約5万人が安全な水にアクセスできるようになりました。

平和・人権の部

スーダン共和国南コルドファン州の紛争被災民への教育支援

認定NPO法人 日本国際ボランティアセンター(現地代表 今中航さん)



賞金 300万円

スーダン南部での紛争勃発以来、12年間にわたって支援を継続しています。近年は主に、紛争の影響を受けた不就学の児童を対象に補習校を開き、教育の機会を提供しています。

性風俗で働く人々への無料の法律・生活相談活動

NPO法人 風テラス(代表 坂爪真吾さん)



賞金 200万円

生活困窮や多重債務、性暴力被害など様々な悩みを抱える性風俗業界の女性のために、弁護士らによる無料相談を実施。これまでに1万人以上向き合ってきました。

日本における加害者家族支援

NPO法人 WorldOpenHeart(代表 藤谷恭子さん)



賞金 200万円

支援が見過ごされがちな加害者家族のために、メディア対応の助言、裁判への協力や代理務理、刑務所への付き添いや代理面会など、様々なサポートを行っています。

芸術・スポーツの部

ヘルスケアアートによる医療福祉環境の改善

鈴木賢一さん(名古屋市立大学特任教授)



賞金 300万円

無機質になりがちな病院や福祉施設にアートを取り入れ、患者や医療従事者に快適な環境や体験を提供する「ヘルスケアアート」に、学生たちと取り組んでいます。

障害者とデザイナーの共創データ「ご当地フォント」

一般社団法人シブヤフォント(代表 福村歩さん)



賞金 200万円

渋谷区の障害者支援事業所で働く障害者が描いた文字や絵をもとに、専門学校卒業デザイナー研究所の学生が整えて仕上げた「シブヤフォント」。全国に取り組みを広げようとしています。

農林水産・食の部

福島県浜通り地域の農業・漁業・食産業のブランドづくり

一般社団法人東の食の会(代表 高橋大就さん)



賞金 500万円

環境システム科の生徒が集う「環境研究班」では、世界の水不足や食料問題の解決に貢献する様々な研究を継続しています。国際コンテストでも評価されました!

視点はSDGs

青森県立名久井農業高等学校環境研究班(代表 大坊隆司さん)



賞金 300万円

カブトムシによる循環型社会の実現

株式会社TOMUSHI(代表 石田陽佑さん(左)・石田健佑さん(右))

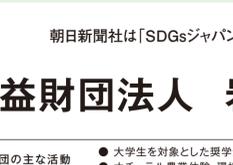


賞金 300万円

農業の残渣や畜産の糞尿などをカブトムシの飼料にリサイクルする技術を確立し、廃棄物処理に適した飼料も開発。年間約1200トンの廃棄物処理に貢献しています。

美味しく食べて竹林整備

糸島コミュニティ事業研究会(代表 日高崇浩さん)



賞金 100万円

荒れた竹林に放置されているタケノコから国産のメンマを作り、竹林整備と地域活性化を両立させる「純国産メンマプロジェクト」を進めています。

第4回「SDGs岩佐賞」は、来月からエントリー開始!

2023年 応募期間 10月12日(木)~11月13日(月)

「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」の特設ウェブサイトから応募フォームに記入のうえ送信してください。特設ウェブサイト <https://sdgs-iwasazaidan.com>



The Asahi Shimbun SDGs ACTION! 全ての受賞者の活動詳細、受賞コメントは朝日新聞SDGs ACTION!で公開中! <https://www.asahi.com/sdgs/brand/iwasasa/>

朝日新聞社は「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」のメディアパートナーです。公益財団法人 岩佐教育文化財団

お問い合わせ / 「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」事務局 TEL:050-3623-0751 (10:00~17:30) Mail: jimukyoku@sdgs-iwasa-zaidan.com

財団の主な活動 ● 大学生を対象とした奨学金給付活動 ● 高校生を対象とした奨学金給付活動 ● ナチュラル農業体験・環境教育活動 ● 「岩佐賞」授与活動 ● 災害支援活動